



## 戦後80年目の夏に思うこと

校長 齊藤 光司

昭和20年に終戦を迎えてから80年の歳月が経とうとしています。世界情勢を見ると、残念ながら現在も多くの戦争や紛争が起きています。今こそ、未来に向かって平和な社会を構築するために日本がやるべき事があると考えます。これまで日本が行ってきた平和国家としての歩みを振り返り、平和の尊さを再認識する必要があると強く感じています。そして、広く世界に対して、「お互いを尊重し助け合うこと」や「平和は、個人や社会全体にとって、幸福で健全な生活を送るための基盤であること」、「命の尊さと核兵器のもたらす恐ろしさ」などを訴えていかなければならないと強く思います。

先日、新宿にある「帰還者たちの記憶ミュージアム（平和祈念展示資料館）」を見学に行きました。この施設は、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者および海外からの引揚者の労苦について、様々な実物資料やグラフィック、映像、ジオラマなどをわかりやすく展示しています。終戦後、シベリアをはじめとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地に60万人もの軍人や民間人が長期間にわたり過酷な強制労働に従事させられました。収容所での生活に関連する実物資料や、その後、大型の船を使い、何度も何度も日本とロシアを行き来し、約45万人の方を救う取組についての様子などが数多く展示されており、戦争の悲惨さや、家族を亡くされた遺族の方々の思いなどを目の当たりにすることができました。戦争が終わってからも、今の平和な社会を創り上げ、発展するまでに長い時間を要したことや、様々なご苦勞を強いられた方々が大勢いたことを改めて知ることができました。また、このミュージアムには、海外からも多くの方々が訪れており、当時の様子などを真剣に学んでいる姿が深く印象に残りました。



今後、新聞やテレビなどで、さきの大戦に関する数多くの報道などがあると思います。80年前の日本で何が起きていたのか、他国の状況はどうであったのか、日本をはじめとする多くの国々で何百万という方々の尊い命が奪われてしまう「戦争という悲惨で不幸な出来事」について学ぶ機会があると思います。みなさんも時間がある夏休み中に、平和関連施設で様々なイベントが行われますので、ホームページ等をチェックし、学習する機会をもってはどうでしょうか。また、日本全国にも平和について学ぶことができる施設が多数あるので、旅行先などの近くにあればぜひ立ち寄って、学びを深めて欲しいと思います。

近隣の国を見ると、現在も徴兵制度がありますし、男女とも徴兵制度がある国も存在します。もし日本で徴兵制度があったら、みなさんはある年齢になったら、自分の意志とは関係なく、決められた期間、軍隊に入隊し、訓練を受け、場合によっては危険な場所へ派遣される可能性があります。でも、今の日本では、そういった義務はありません。これは、皆さんが自分の進路、仕事、学習、そしてどんな生き方をするかを、自分の意思で自由に決められるという、世界では当たり前ではない権利があることを意味します。この自由があるからこそ、皆さんは将来の夢に向かって学んだり、世界中を旅したりと、多様な人生をデザインできます。日本に徴兵制度がないということは、特別なことなのです。この当たり前ではない恩恵を、私たちは決して忘れてはいけません。それは、この平和で自由な社会を維持し、次世代へと引き継いでいく責任が私たち一人一人にある、ということでもあると考えます。また、日本は、唯一の被爆国という重い歴史をもっています。核兵器のない世界をつくり、真の平和を実現するために、国際社会に対して大きな責任と役割をもっているということです。

今年の夏は、80年前にこの日本で起きていたことや、戦争がもたらす悲惨さ、平和の尊さをしっかりと学び、未来に向けて私たちができることを考えましょう。戦争を経験された方々が少なくなってきたからこそ、唯一の被爆国に住む私たちには、具体的な行動を通じて世界平和に貢献していくことが求められていると思います。

### 9月の主な行事予定

1日(月) 始業式	15日(日)~17日(火) 修学旅行(3年)
5日(金) 委員会	17日(火) 職場体験(2年)
8日(月) 生徒会朝礼	26日(金) 生徒会役員選挙
12日(金) 連合陸上大会	29日(月) サザランド受入式
13日(土) 土曜学校公開日、学校説明会	30日(火) 委員会